

4月募集

2012年度 特定課題研究助成費 4月募集（新任の教員等） 研究計画募集要項

9月募集には応募できませんのでご注意ください！
※下記3.の申請資格に該当する方は今回の4月募集にのみ応募できます。

研究推進部研究支援課

新規に嘱任された教員等に対する支援体制の一環として、嘱任初年度に執行可能な特定課題研究助成費「2012年度特定課題研究助成費（新任の教員等）」に係る研究計画を以下の要領により募集します。

特定課題研究助成費とは、本学教員の研究の助成を行うため設定された「早稲田大学研究助成基金」の果実等をもって、個人または複数人で行う研究に対し助成を行うものです。

大きく、特定課題A、特定課題B、新任の教員等の3つのカテゴリーに分かれます。詳細は以下のURLを参考にしてください。

<http://www.waseda.jp/rps/fas/guide/research-fund/challenge.html>

なお、本助成費とは別に、条件を満たしている方は科学研究費補助金【研究活動スタート支援】に申請してください。（注：特定課題研究助成費（新任の教員等）は科研費不採択者を対象とする特定課題B（科研費連動型）の対象にはなりません。）

1. 助成目的

新規嘱任当初の研究資金を充実させるため、また、個人で行ってきた研究をさらに深め、完成させるために、個人で行う研究に対して助成するものです。

2. 助成対象

全専門分野

3. 申請資格

2011年度特定課題（新任の教員等）の募集終了後の、**2011年4月2日付～2012年4月1日付**で新規に早稲田大学に嘱任された**教授・准教授・専任講師・特任教授・教諭・教授（任期付）・准教授（任期付）・講師（任期付）・助教・助手**の方が対象です。（2011年度の9月募集分（2011年4月2日付～9月1日付嘱任）に申請しなかった方も含む）

なお、2011年度の9月募集時に申請し、不採択だった方の再申請はできません。

※外部資金で雇用された教員等は申請資格がありません。

【申請資格確認時の注意】

下記の例を参考にしてください。

例1) 2011年度 助手 → 2012年度 助教 … 申請資格**なし**

例2) 2011年度 客員上級研究員 → 2012年度 教授（任期付） … 申請資格**あり**

例3) 有資格者→非有資格者→有資格者 …申請資格**あり**

- ◆過去に当該助成金の交付を受けた場合でも、一度学外に出られ、上記3. の資格で再度早稲田大学に雇用された場合は申請することができます。
- ◆2012年度（平成24年度）科学研究費補助金に新規申請中、または継続内定されている方も、申請が可能です。

4. 申請書類の交付

「研究計画書」「研究計画書作成記入要領」および「特定課題研究助成費科目説明・使途範囲表」については、以下のホームページよりダウンロードしてください（2月中旬掲載予定）。

<http://www.waseda.jp/rps/fas/research-expenses/specific-research/subsidy02.html>

5. 研究助成費および研究期間

(1) 研究助成費 30万円以下

(2) 研究期間 2012年6月1日～2013年3月31日

※お願い：採択者は次年度以降の科学研究費補助金の応募・採択につなげるよう努力してください。

6. 申請方法・提出場所

「特定課題研究助成費研究計画書」(両面印刷)を **所属箇所事務所** に提出してください。

7. 提出部数・締切日

(1) 提出部数：「研究計画書」正1部・写1部（両面印刷）

(2) 締切日：2012年4月11日（水） 【厳守】

8. 採択方法・研究助成費の配分額の決定

書面審査および合議審査により特定課題研究助成費審査委員会の審査等を経て決定します。

9. 採否の通知

2012年5月（予定）に開催される特定課題研究助成費審査委員会の議を経て、学内意思決定機関承認後、所属箇所を経由して通知します。（この際、採択者には「使用計画書」の作成を依頼しますので、別途提出してください。提出締切はその際通知します。）

10. 申請に当たっての留意事項

- (1) 研究内容については、研究目的が明確であり内容が具体的に設定され、かつ研究規模が適切であることが必要です。
- (2) 研究期間終了後、Webにより「研究成果概要」（800字以上）を提出していただきます。「研究成果概要」が未提出の場合は、次年度以降の特定課題研究助成費の申請ができません。
- (3) 研究成果を書籍または学術雑誌等に公表する際は、文中に本助成費の成果であること、および課題番号を明記していただきます。

以上